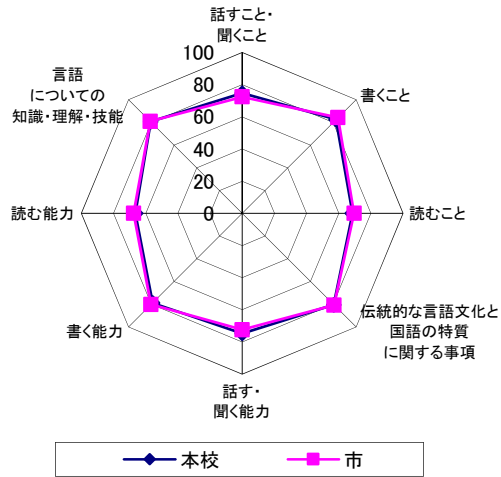


宇都宮市立古里中学校 第3学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |                      | 本年度  |      |      |
|-----|----------------------|------|------|------|
|     |                      | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 話すこと・聞くこと            | 74.7 | 72.4 | 70.5 |
|     | 書くこと                 | 82.4 | 84.1 | 70.0 |
|     | 読むこと                 | 68.5 | 69.5 | 64.0 |
|     | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 80.5 | 80.8 | 77.7 |
|     |                      |      |      |      |
| 観点別 | 話す・聞く能力              | 74.7 | 72.4 | 70.5 |
|     | 書く能力                 | 78.8 | 80.2 | 68.0 |
|     | 読む能力                 | 66.4 | 67.5 | 62.4 |
|     | 言語についての知識・理解・技能      | 80.5 | 80.8 | 77.2 |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

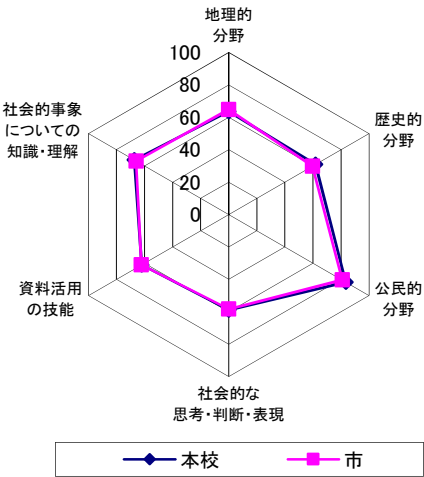
| 領域                   | 本年度の状況                                                                                                                                              | 今後の指導の重点                                                                                                                                                        |
|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 話すこと・聞くこと            | ○話すこと聞くことの問題では、全ての設問で市の平均を4ポイント程度上回っている。<br>○全体としては、市の平均を2.3ポイント上回った。<br>●その一方で、文章記述が求められている問題では、市との平均差が2ポイント程度の上回りとなっており、他の問題に比べると市の平均値に近い値になっている。 | 音声聞き、記号などで選択する問題では、ほとんどの生徒が正答を選んでいるが、記述式の問題になると正答率が下がっている。音声を聞き、必要な情報をメモし、それを自分の中で再構成して文章化する力が不足していると思われる。それを補うために、授業内での聞き取り問題の頻度を増やしたり、普段の授業から記述する機会を設けたりしていく。 |
| 書くこと                 | ○読み取った内容をまとめて書くことができている。<br>●指定された字数で書くことや、自分の考えを書く内容の設問では、市の平均から2～5ポイントほど下がっている。<br>●全体では市の平均を1.7ポイント下回っている。                                       | 読み取った内容を書くことができているが、そこに自分の考えや意見などが入ると苦手意識を持つ生徒が多い。そこで普段の授業の中で、自分の意見を発言したり、書いたりする時間を増やしていく。同時に、ペア学習やグループ学習を取り入れ、他人の意見や文章に触れる機会を増やしていく。                           |
| 読むこと                 | ○長文読解では、登場人物の心情把握や内容構成の把握、表現の特徴の把握などでは市の平均を上回っているものが多い。<br>●一方で、登場人物の人物像の把握、資料と文章の適合性、論理的な思考の部分で市の平均を下回っている。<br>●全体としては市の平均を1.0ポイント下回った。            | 内容構成や心情把握ができていることから、丁寧に読み進めており、文章同士の関係性も比較的把握できていることが伺える。一方で、文章の内容をデータなどの資料と照らし合わせていくような作業が加わると、苦手になる生徒が多い。そのため、説明文などの授業を用いて文と資料を見比べる時間を増やすなどしていく。              |
| 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | ○漢字の読みに関しては、正答率が100%のものもあるなど、全体的によくできている。<br>●漢字の書きでは、送り仮名のミスが目立っている。<br>●文法に関しては、敬語以外は市の平均を下回っている。<br>●全体としては市の平均を0.3ポイント下回った。                     | 漢字に関しては、毎日の取り組みが大切になるので、家庭学習の啓発や定期的な漢字テストを用いて定着を図る必要がある。また、文法に関しては、授業の時数を増やし、丁寧に説明していくようにする。同時に、定期的な復習する時間を設け、確実に定着していくように取り組んでいく。                              |
|                      |                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                 |
|                      |                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                 |

宇都宮市立古里中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |                 | 本年度  |      |      |
|-----|-----------------|------|------|------|
|     |                 | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 地理的分野           | 63.6 | 64.8 | 54.5 |
|     | 歴史的分野           | 61.9 | 59.7 | 52.2 |
|     | 公民的分野           | 83.4 | 80.9 | 69.4 |
|     |                 |      |      |      |
| 観点別 | 社会的な思考・判断・表現    | 58.9 | 58.3 | 49.5 |
|     | 資料活用 of 技能      | 62.0 | 62.2 | 53.1 |
|     | 社会的事象についての知識・理解 | 67.3 | 66.0 | 57.0 |
|     |                 |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

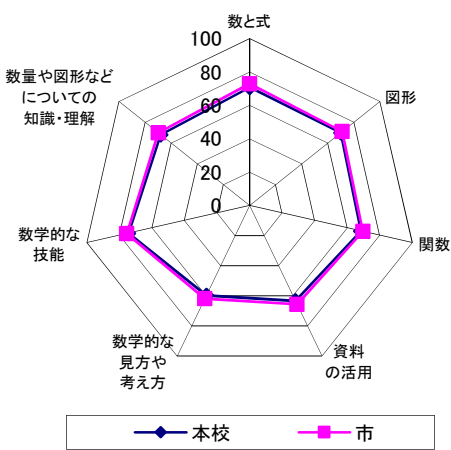
| 領域    | 本年度の状況                                                                                                                                     | 今後の指導の重点                                                                                                                                                                          |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地理的分野 | ○知識理解の問題の正答率は全体として市の平均を上回っていた。<br>●全体として市の平均の正答率よりも下回っている。<br>●世界地図や日本と世界の川の比較した資料を用いた問題などの正答率が市の平均を下回ってしまったことから、資料活用の技能が定着しきっていない生徒が見られた。 | ・正答率の低かった世界地図を用いた問題は、白地図や地図帳・資料集を用いてまとめるなど今後も指導の工夫をしていく。<br>・資料活用の技能や、資料をもとに考察し表現する能力を定着させるために、各単元で資料を読み取ったりまとめたりする活動を取り入れていく。<br>・様々な資料を読み取るにあたり、資料の注目すべき箇所や世界地図の特徴などを丁寧に指導していく。 |
| 歴史的分野 | ○全体として市の正答率より若干上回ることができた。<br>○江戸時代の理解が高く、正答率は市の平均を上回った。特に江戸時代の資源分布の資料を読み取って農具の広まりの理由を記述する問題の正答率は市の平均を大きく上回った。<br>●平安時代の正答率は市の平均よりも低くなっている。 | ・過去に学習した内容を振り返らせるために、授業の中で様々な時代のつながりを意識させるように比較資料を用いたり、時代の変化がわかるような資料を準備したりしていく。<br>・学習内容の定着を図るために、各時代を大観してレポート形式でまとめる授業を展開する。<br>・1年生で学習した内容の正答率が低かったので、授業の時間にミニテストの実施を継続していく。   |
| 公民的分野 | ○全体として市の正答率より若干上回ることができた。<br>○情報モラルやグローバル化などの現代社会に関する問題の正答率は特に高く、市の平均よりも大きく上回った。<br>●効率と公正に関する問題では、市の平均を下回った。特に効率に関する理解や判断が身に付いていない生徒が多い。  | ・授業で学習した基本的な知識を用いて、実際に自分たちの周りで起きている出来事と関連付けて考えられるような授業を展開していく。<br>・公民的分野の基本的な考え方である効率と公正を定着させるために、公民の様々な分野で効率と公正を結び付けて授業を展開する。<br>・基本的な知識を定着させるために、授業の時間にミニテストの実施を継続していく。         |
|       |                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                   |
|       |                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                   |
|       |                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                   |

宇都宮市立古里中学校 第3学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |                   | 本年度  |      |      |
|-----|-------------------|------|------|------|
|     |                   | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 数と式               | 70.9 | 73.0 | 67.5 |
|     | 図形                | 69.9 | 71.1 | 59.5 |
|     | 関数                | 68.4 | 69.7 | 60.0 |
|     | 資料の活用             | 63.4 | 65.6 | 58.5 |
|     |                   |      |      |      |
| 観点別 | 数学的な見方や考え方        | 59.8 | 61.8 | 49.6 |
|     | 数学的な技能            | 74.4 | 75.4 | 68.9 |
|     | 数量や図形などについての知識・理解 | 68.1 | 69.8 | 62.6 |
|     |                   |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

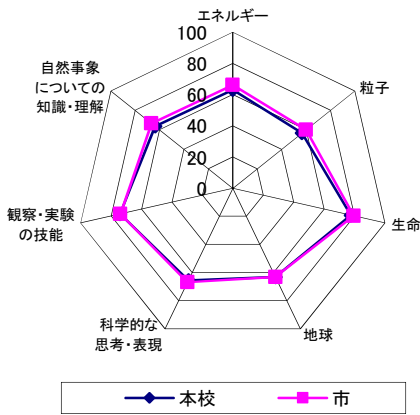
| 領域    | 本年度の状況                                                                                                                                                                | 今後の指導の重点                                                                                                                                                  |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 数と式   | ●市の平均を2. 1ポイント下回っている。<br>●単項式の乗除の混じった計算、平方根の大小、分母を有理化して根号を含む式の減法をすること、2次方程式を利用して文章問題を解く問題が市を下回っている。<br>○式の展開、因数分解の問題、連立方程式の計算、連立方程式の立式の問題はやや市を上回った。                   | ・基本的な計算を着実に定着させるために、今後も個別指導や反復練習などの充実を図る。<br>・平方根の意味を再確認し、その性質をもとに計算のやり方を丁寧に復習する。<br>・2次方程式の解き方を再確認し定着を図る。方程式の立式を苦手としている生徒が多いので、関係を見つけて方程式を作る練習をさせ定着させたい。 |
| 図形    | ●市の平均を1. 2ポイント下回っている。<br>●三角形の高さを表す線分の作図、回転移動の問題は市を下回っている。<br>○証明の必要性和意味の理解の問題、三角形の合同条件を判断し証明する問題は市を上回った。                                                             | ・基本的な図形の作図は1年生の時に学習した。線分の垂直二等分線、垂線、角の二等分線など基本的な作図の方法を再確認するとともに、条件を満たす点を求めることにそれらを活用することで理解を深めさせる。<br>・図形の移動についてその意味や特徴を再確認する。                             |
| 関数    | ●市の平均を1. 3ポイント下回っている。<br>●1次関数の式とグラフの関連を問う問題、yがxの2乗に比例する関数の立式の問題、比例・反比例の活用の問題は市を下回った。<br>○比例の式から関係を表す表を選ぶこと、yがxの2乗に比例する関数の変化の割合を求めること、座標平面上に頂点を持つ長方形の面積を求める問題は市を上回った。 | ・「関数」についての基本的な内容、xとyの関係を表す表、式、グラフの関係をしっかりと理解させるとともに発展的な課題に取り組ませる機会を多くもち、基本的な知識、技能を活用することで、その面白さや便利さを体験させるようにする。                                           |
| 資料の活用 | ●市の平均を2. 2ポイント下回っている。<br>●相対度数、中央値や平均値の意味やそれをどう活用するかを問う問題は市を下回った。<br>○確率の基本的な問題は市を上回った。                                                                               | ・「資料の活用」は1年生の学習内容である。用語(度数分布表、相対度数、中央値、最頻値、平均値など)の意味や求め方を再確認する。<br>・資料を活用し、説明する力を身に付けさせるために、授業の中で説明を書いたり、説明し合ったりする時間を十分に確保するようにする。                        |
|       |                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                           |
|       |                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                           |

宇都宮市立古里中学校 第3学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |                | 本年度  |      |      |
|-----|----------------|------|------|------|
|     |                | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | エネルギー          | 63.1 | 66.1 | 56.4 |
|     | 粒子             | 56.6 | 60.0 | 57.4 |
|     | 生命             | 77.6 | 79.4 | 75.2 |
|     | 地球             | 63.1 | 63.1 | 49.4 |
|     |                |      |      |      |
| 観点別 | 科学的な思考・表現      | 65.5 | 66.8 | 57.2 |
|     | 観察・実験の技能       | 74.1 | 73.8 | 69.4 |
|     | 自然事象についての知識・理解 | 63.7 | 66.6 | 61.1 |
|     |                |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 領域    | 本年度の状況                                                                                                                                                                                                      | 今後の指導の重点                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| エネルギー | ○弦を張る強さと音の高低の関係、空気の振動、記録テープの打点のようすから台車の速さの変化を求める設問では高い正答率となっている。<br>●全体として市の平均を3ポイント下回る正答率となった。電流と磁界については全ての設問で、市の平均を下回っている。特に誘導電流についての正答率は、41.1%と低い結果となった。                                                 | ・観察、実験等を行い、事象について日常生活や社会と関連付けながら、理解を図っていく。そのために、身近な現象や事象を例に挙げながら説明をしていく。<br>・観察、実験等に関する技能を身に付けさせ、思考力、判断力、表現力等の育成を図っていく。そのために、技能が身に付いたかの確認の技能テストを行ったり、実験からわかることを個人で考える時間を十分にとり、他者との考えの共有や比較することにより妥当な考えを導けるように指導していく。<br>・電流と磁界については、課題を解決する方法を生徒自らが立案し、その結果を分析して解釈する活動を行い、主体的な課題解決学習を行っていく。 |
| 粒子    | ○ガスバーナーの炎を正しく調整するための設問では、市の平均より2.1ポイント高くなっている。また、塩化物イオンについての理解の設問では、市の平均より4.3ポイント高くなっている。<br>●全体として市の平均を3.4ポイント下回る正答率となっている。特に、銅イオンについての理解の正答率が32.1%となり、市の平均を17.1ポイント下回っている。また、化学変化については全ての設問で、市の平均を下回っている。 | ・観察、実験等を行い、水溶液の電氣的性質や酸とアルカリ、イオンへのなりやすさ等をイオンのモデルと関連付けて、肉眼で見えない微小な物や事を理解できるように指導していく。<br>・化学式やイオン式等の知識の定着が必須のものについては、小テスト等を行い、基礎基本の定着を図っていく。<br>・化学変化については、化学変化における物質の性質や質量の変化を原子や分子モデルと関連付けて指導していく。                                                                                          |
| 生命    | ○動物のからだのつくりとはたらきでは、2つの設問があったが、いずれも市の平均よりも2.8ポイント、2.9ポイント高い正答率となっている。<br>●全体として、市の平均を1.8ポイント下回っている。特に、植物のからだのつくりとはたらきと生物の成長と生殖では、全ての設問で市の平均よりも低い正答率となっている。                                                   | ・観察、実験等を通して細胞レベルで見た生物の共通点と相違点に気付かせ、生物と細胞、植物と動物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見出せるように指導していく。<br>・資料の提示だけでなく、実際に生物等を観察することを通して、生物は変化して多様な生物の種類が生じていることを実感させていく。<br>・植物のからだのつくりとはたらきや生物の成長と生殖については、多くの植物を提示し、観察記録や資料を基にして、指導していく。                                                                       |
| 地球    | ○他の領域は市の平均を下回っているが、地球の領域は市の平均と同じ正答率となっている。地層にふくまれる粒の大きさから、土砂が堆積したときの海水面の変化を推測する設問では、市の平均を1.6ポイント上回っている。また、地層の手がかりを述べる設問では、市の平均を2.4ポイント上回っている。<br>●日本の気象の設問では、全ての設問で市の平均を下回っている。                             | ・身近な気象の観察、実験等を行い、その観測記録や資料を基に、気象要素と天気の変化の関係に着目させていく。<br>・天気の変化や日本の天気の特徴を、大気中の水の状態変化や大気の動きと関連付けて理解させていく。                                                                                                                                                                                     |
|       |                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|       |                                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

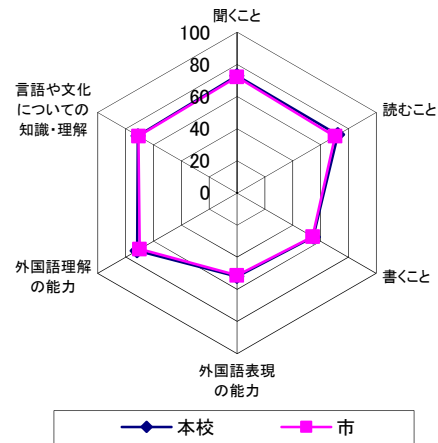


宇都宮市立古里中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |                 | 本年度  |      |      |
|-----|-----------------|------|------|------|
|     |                 | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 聞くこと            | 73.0 | 72.2 | 67.8 |
|     | 読むこと            | 72.4 | 70.5 | 70.4 |
|     | 書くこと            | 54.9 | 54.3 | 54.0 |
|     |                 |      |      |      |
| 観点別 | 外国語表現の能力        | 52.0 | 51.2 | 49.2 |
|     | 外国語理解の能力        | 71.7 | 69.8 | 65.8 |
|     | 言語や文化についての知識・理解 | 71.1 | 70.7 | 74.0 |
|     |                 |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

| 領域   | 本年度の状況                                                                                                                                                                                           | 今後の指導の重点                                                                                                                                                                                    |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 聞くこと | ○ほとんどの問題で宇都宮市の平均を上回っている。特に、英文の概要を聞き取る問題では、94.6%の正答率となった。<br>●対話の内容を聞き取り、案内をもとに英語で答える問題では、全国平均22.2%、宇都宮市の平均31.2%よりは上回っているものの、34.4%と正答率が低かった。また、英文の内容を聞き取り、案内をもとに英語で答える問題では、宇都宮市の平均を2.9ポイント下回っている。 | ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの<br>・まとまった英文を聞き取り内容を把握することを苦手としている生徒が多いので、ALTとの対話活動や音声教材を工夫し、聞く能力の向上を図っていく。<br>・多くの対話活動を取り入れ、繰り返し口頭練習することにより場に応じた応答ができるよう授業を工夫していく。                                 |
| 読むこと | ○ほとんどの問題で宇都宮市の平均を上回っている。特に、図や表などを含んださまざまな英文を読み、適切に選んだり応じたりする問題では、いずれも市の平均を上回っている。また、メールの内容を把握する問題では84.8%で、宇都宮市の平均を8.6ポイント上回っている。<br>●疑問詞を含んだ疑問文の語い・語法を理解する問題では、宇都宮市の平均を3.6ポイント下回っている。            | ・授業中の活動で、様々なタイプ(ブログやエッセイなど)の英文を読む機会を今まで以上に増やし、まとまった英文を読み慣れる習慣を身に付けさせる。様々な英文に触れることを重点に指導する。<br>・常日頃から語彙力を身に付けることが読解力を向上させる一番の近道でもあるので、家庭学習ノートなどで英単語や重要構文などを覚える一助となるよう、既習語彙の復習を頻繁に授業で取り入れていく。 |
| 書くこと | ○約半数の問題で宇都宮市の平均を上回っている。特に、与えられた情報に基づいて3人称単数現在時制の肯定文を正確に書く問題では、宇都宮市の平均を10.3ポイントも上回る70.5%の正答率だった。<br>●与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の否定文を正確に書く問題では、正答率が12.5%と低く、市の平均を15.4ポイント下回っている。                       | ・既習事項の確認を常にできるよう、定期的に小テスト等を行い、基礎基本の定着を図っていく。<br>・多くの生徒が、身に付けた知識を活用して、場や条件に合う英文を書くことができている現状なので、その力を更に伸ばしていけるよう引き続き演習を多く取り入れた授業を行っていく。                                                       |
|      |                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                             |
|      |                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                             |
|      |                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                             |